

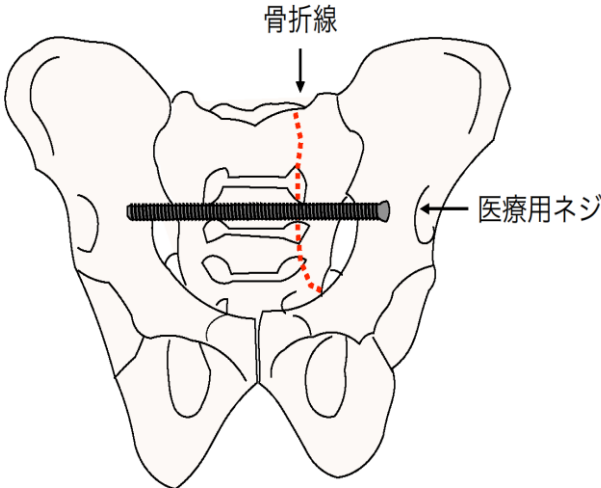
患者さまへ

「骨盤輪骨折に対する transiliac-transsacral screw[※]挿入法の検討 —仙骨椎体側面像における対角線交点の有用性—

※骨折箇所を固定する低侵襲の医療用ネジ

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023 年 1 月～2023 年 12 月までに湘南鎌倉総合病院外傷整形外科を受診した患者さまのうち骨盤部全体を含めた C T 撮影を受けられた方
2 研究目的・方法	骨粗鬆症（骨が脆くなってしまう病気）を背景とした骨盤骨折が近年増加傾向です。身体に負担の少ない固定方法として医療用ネジを用いた固定が有効と報告されていますが、X 線透視装置では骨粗鬆症により骨の輪郭がわかりにくいこと、腸管ガスが骨に重なってしまうことにより適切な挿入部（ネジを入れる位置）がわかりにくいことがあります。 本研究では既に撮影された CT 画像を用いてより安全な医療用ネジの挿入方法を検討します。 参考図：骨盤正面像  研究の期間：施設院長許可（2025 年 1 月予定）後～2026 年 1 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

	ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、画像データ 等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 外傷整形外科 石橋卓也 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2025 年 3 月 14 日作成(第 1.1 版)